



SGH News Letter No.7



平成 29 年 8 月 31 日発行 愛媛県立松山東高等学校

海外 FW 実施報告

8 月に実施した海外 FW の感想や様子をまとめました。

行先	日程	行程	生徒感想
台湾	8/8	※台風の影響で 1 日短縮 高松空港→台北空港	<ul style="list-style-type: none"> 海外で活躍する日本人の方の姿、日本で働いた事のある台湾人の方の姿を見て、海外で働くことに憧れをもちました。 同企業であっても国内外でそれぞれ特色が異なると感じた。 日本との違いを考えるいい機会となった。 開南大学で現地の学生と英語で交流し、自分の英語力はまだまだだと痛感しました。 開南大学の学生の英語力に圧倒された。 日本語が通じない相手と英語で会話する事がとても新鮮でした。 英語を話す楽しさを知り、もっと話せるように頑張りたいです。
	8/9	三浦鍋炉台北本社訪問（台北市） 三浦鍋爐股份有限公司および 住華科技訪問（台南市）	
	8/10	開南大学訪問・交流会（台北市）	
	8/11	台北空港→高松空港	
フィリピン	8/8	松山空港→羽田空港 →成田空港→マニラ空港	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問でそれぞれの戦略や計画、システムなどを知り、普段は入ることのできない所に踏み入れることができよかった。 フィリピンの文化に触れ、日本での生活がいかに恵まれているのか実感した。 フィリピンの人が 1 日に稼ぐお金が自分のお土産代と同じくらいと知り、お金の使い方について考えさせられた。 UPIS で知らない人たちに囲まれ、英語で話しかけられ、英語力だけでなく人間的にも成長できたと思う。 同世代の UPIS の学生が学習の意識が高く、授業中も積極的に質問していて、すごいと思った。
	8/9	渦潮電機（BEMAC）販売製品の市場見学 ・フィリピン工場訪問	
	8/10	HONDA 工場訪問	
	8/11	フィリピン大学附属高校（UPIS）訪問	
	8/12	マニラ空港→成田空港 →羽田空港→松山空港	



三浦鍋炉台北本社訪問



住華科技訪問



開南大学での交流



市内散策



BEET 工場見学



電動3輪車



ホンダ工場見学



UPIS で同学年の授業に参加



個人での海外留学

『トビタテ!留学 JAPAN』制度を利用し、語学留学を 3 名が経験。それぞれの滞在地は以下の通り。

- ①アメリカ（ロサンゼルス） ②カナダ（モントリオール） ③アメリカ（ワシントンDC）

他にも、各種制度を使って、2 名が 1 年間の留学に出発しました。

ハワイ語学研修

15 名の生徒（うち 1 年生 13 人、2 年生 2 人）がハワイ大学で開催された 7/23～8/8 の 2 週間の語学研修に参加致しました。この語学研修では、語学のみならずハワイの文化や歴史について学んできました。



● イギリス・サマースクール (2017 UCL Japan Youth Challenge)

今年、ケンブリッジ大学とUCL(University College London)で行われた日英高校生の交流イベント「2017 UCL Japan Youth Challenge」プログラムに参加しました。滞在中は、世界をリードする研究者の沢山の講義、シンポジウム、英語の授業など様々なイベントや活動を体験しました。特に、社会起業の活動と経営に関するシンポジウムと夏目漱石の生誕 150 周年を祝うシンポジウムがあり、その中で夏目漱石と松山や東高のつながりを研究しプレゼンテーションをする大役を本校生徒が果たしました。内容が濃く、また刺激の多い経験をする事ができました。



初日の自己紹介



夏目漱石シンポジウム



シンポジウムでの合同発表



集合写真

● 課題研究 担当講師および研究テーマ

1 年生 (9月開始)

No	講師	所属	課題研究テーマ
1	今泉志奈子	愛媛大学法文学部	日・英語間の翻訳を通して探る英語らしさ・日本語らしさのありか ～今治バリエーションバイリンガル化プロジェクト～
2	近廣 昌志		グローバル企業のケイレツ化と強み
3	榎林 建司		難民問題についてのワークショップ
4	鷲原 進	愛媛大学教育学部	グローバル化している社会現象のつながり ー有為な主権者となるためにー
5	川瀬久美子		地図で知る・考える・伝える！グローバル化
6	福富 彩子		グローバル社会における音楽活動 ～鍵盤楽器を中心に～
7	向 平和		社会教育施設の役割と課題
8	渡邊 敬逸	愛媛大学社会共創学部	持続可能な開発目標 (SDGs) から考える持続可能な社会づくり
9	長崎 睦子	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター	グローバル社会におけるコミュニケーション能力とは？
10	中山 晃		グローバル・コミュニケーション・スキル (Global Communication Skills)
11	前原 常弘	愛媛大学理学部	核融合とプラズマ
12	小林 直人	愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 医学教育学講座	最新の医学・医療と医学教育について考える ～グローバル・スタンダードな医学・医療と医学教育とは？～
13	石川史太郎	愛媛大学工学部	半導体技術から考えるグローバル社会
14	井門 俊		世界における最先端の画像処理技術とその応用
15	大上 博基	愛媛大学農学部	水を使う技術と社会性 ～グローバル時代の共生とは何かを考える～
16	菅原 卓也	愛媛大学大学院農学研究科 生命機能学専攻	食品の保健機能に関する研究
17	小林 修	愛媛大学国際連携推進機構 アジア・アフリカ交流センター	アジア・アフリカで共有する持続可能なライフスタイルの探求
18	長友 太郎	愛媛県立中央病院新生児内科	医療の視点から赤ちゃんが生まれ育つ社会を考える
19	張 蘭雲	元東京大学大学院理学系研究科 地質学専攻	身近なことからグローバル化を考える
20	嶋村 美和	元京都大学東南アジア研究所研究員	愛媛の国際化に取り組む
21	梶原 春菜	元京都大学法学研究科助教	国際政治問題を考える

● おわりに

平成 26 年度に第 1 期校として指定を受けた本校 SGH 事業。暗中模索の中でいろいろなことにチャレンジしてきた国を挙げての大きなプロジェクトも、先輩たちの頑張りによって軌道に乗り、優れた成果が見られるようになりました。5 年計画で始まったこの事業も、残すところあと 1 年半。プロジェクトの特質を生かし、最後まで様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

さて、3 年生が昨年度から行ってきた課題研究の成果をまとめた論文が完成しました。作成には大きな苦労がありましたが、講師の先生方の熱心な御指導の下、なんとか全員が完成することができました。9 月 20 日 (水) の文化祭で、各講座の代表生徒が論文発表を行い、3 年生は SGH に関する活動を終了することになります。これまで活動・研究したことが、3 年生の将来に少しでもプラスになることを願っています。また、9 月からは 1 年生の課題研究がスタートし、2 年生は研究をさらに深めていく時期になります。生徒たちが本事業を通してさらに発展していけるよう、教職員一同、努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、これまで 3 年生を御指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。また、1・2 年生を御指導いただく先生方、今後ともよろしく願いいたします。

愛媛県立松山東高等学校

〒790-8521

愛媛県松山市持田町 2-2-1 2

<学校 HP>

<http://matsuyamahigashi-h.esnet.ed.jp/cms/>

発行元：SGH 事業課